

櫻守の会

2023年2月号

2023年2月1日（通巻285号）
発行：櫻守の会代表 近藤 茂
〒665-0485 宝塚市栄町3-4-10-505
会員数 108名（1月25日現在）
HP：<https://www.sakuramori.net/>

山釣りへの思いと放浪旅

長岡 一夫

2013年10月初旬、木曾福島・松本市を旅した事があった。東京支店に勤め大阪本社への出張から帰る日の午後、急遽神河内へ行くたびに利用した松本駅から出る松本電鉄上高地線（2011年からアルピコ交通上高地線と改名したが、慣れ親しんだ松本電鉄上高地線名も併用）で終点の新島々駅まで行き、好物の信州蕎麦を食べて帰って来た。

以前このローカル線はひと駅先の島々驛まであり、バスターミナルでバスに乗り換え上高地まで運行されていたが、現在は最終駅がひと駅手前の新島々駅になった。ひと駅先の島々驛までの線路は1983年の台風の土砂崩れで不通となり、復旧かなわず1985年に遂に島々驛は廃止となった。引き返す時、駅前の野麦街道（国道158号）を挟んだ向かいの広場の奥に旧島々驛舎（当然駅名は右書表示）が移設・保存・利用されているのを発見し、本当に驚いた。観光客や登山者達は、殆ど気が付いていない様子。



旧島々驛舎：直売所に利用

バス便の無い時代の昔のアルピニスト達が、上高地への出入りに通っていた島々から徳本峠越えて神河内への道を一度歩いてみたくなり、1974年に大阪出張の帰り休暇を取り神河内に入り嘉門次小屋で泊まり、帰りに徳本峠を越えて谷道を下り、島々の部落に着いた時はすっかり日が暮れていた。やっと旅籠に辿り着き、宿のお婆ちゃんに途中で釣った3匹のイワナを焼いてもらい、旨い地酒でイワナ酒も飲み、出された旨い味噌汁・漬物を褒めたところ、翌朝自家製味噌を土産にもらい、東京へ帰った事を思い出した。

東京で習った山釣り（イワナ・ヤマメ）は、東京支店に転勤した時に東京溪流釣り人倶楽部に入会した。富士山・剣山・槍ヶ岳・白山・他で山登りしていたので下りでの溪流は魅力的だった。初めて参加した釜石市の釣行会でのビギナーズブラックで長寸のイワナを釣り、新人賞を貰い山釣りにのめり込むことになった。釣りが解禁となった長野県に遠征し雪の積もった河原で竿を出し、寒さに震えあがったこともあった。もう溪流釣りは望めなくなったが、2019年頃まで釣り友と兵庫の青垣辺りでテンカラ釣を楽しんでいた。神河内や尾瀬ヶ原は禁漁区で大小の流れに大きなイワナが悠々と泳いでいる。嘉門字小屋では養殖イワナでイワナ酒が楽しめる。

1993年に北の白神山地と南の屋久島が共に世界遺産に認定されたが、1995年10月退職し東北へひとり旅をした。日本海側を通り青森県に3日後弘前市まで、その後西目屋村で4日間、最後の1日は白神山地の保護地区を含めた地域の清掃活動に参加。遠方からの参加者なのであと少しひと山超えるとクマガラの棲む地区まで入り、遺産指定以前に持ち込まれた特に空き缶を清掃した。ブナシメジを大量に持ち帰り家に送った。その時は西目屋村のマタギ舎代表の熊猟師でもある工藤光治氏がリーダーで、秋田県能代市のネイチャーガイド白神PRO佐々木昇氏とも知り合い、今もお付き合いしている。その後気に入って7回ほど友人達を連れて行き、毎回マタギ小屋（ダケカンバの幹と皮で屋根を：小屋の中に薪ストーブ：周りに寝床が高床で）で1泊-3泊したが、残念ながら暗門川下流でのイワナ釣りの機会はなかった。後乳頭温泉3日（内1日で近郊温泉地巡り：ラストが黒湯温泉）で、弘前市で泊りジョンガラ節酒場：山唄（現在は無い）で飲みながら楽しんだ。同席の人に紹介状を貰い酸ヶ湯温泉で3日間（サービス満点）と後は仙台松島・東京の親戚を回り帰ったが、一番長い旅の思い出だ。



マタギ小屋で1泊-3泊した

2018年10月長男夫婦と東北に居た3男と秋田市(なまはげ)と青森県弘前市(弘前城・弘前公園:桜の名所)を旅し、五能鉄道(全席指定席券必要)を乗りに行ったが、弘前では山唄での弟子が営むジョンガラ節酒場で久しぶりに楽しんだ。弘前市郊外にある鶴の舞橋に行く途中は素晴らしいリンゴ畑があるが、今回は残念ながら西目屋村のリンゴ畑まで行く時間がなかった。心残りは岩木山に登れなかったことである。昔、神戸酒心館でジョンガラ節ライブがあり、何度か聞きに行った思い出がある。

***** 目次 *****

- P1 序文:山釣りへの思いと放浪旅
- P2 2023年1月度活動実績表
- P3~4 活動報告:桜の園、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森、
- P5 お知らせ・案内:運営委員会報告、会員消息、武庫川エコハイク
- P5~8 櫻守ひろば:吉野山紀行(その3)、テイカカズラのふわふわ種子、逆瀬台小皆さんからのお手紙
- P8 活動予定表

< 2023年1月度 活動実績表 >

月日	活動地 参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
12月24日 (土)	ふらざこむ1 8名	晴れ	運営委員会	8
12月25日 (日)	桜の園 (亦楽山荘) 25名	晴れ	(廃線跡・第三二トンネル間) 山側斜面のアオキ伐採	4
			(城ヶ丘広場北側急斜面) 常緑樹の間伐	7
			(赤松休憩所北急斜面) 大ヤシャブシの伐採	6
			(シロバナウンゼンツツジ自生地) 作業道の作成、整備	6
			(廃線跡、内周路) 樹名板取付	2
12月28日 (水)	青葉台 14名	晴れ 時々 曇り	(光が丘ルート) 笹、細竹、低常緑樹の刈り取り、掛かり枝、落下枝の処理	4
			(陽光広場、行者山登山路) ススキ、笹、雑草の刈り取り	4
			(陽光広場・湧水路周辺) 枯れ木伐採、絡み合ったツル類の除去	6
1月5日 (木)	桜の園 (亦楽山荘) 17名	晴れ	(廃線跡) 園路にはみ出したアラカシ枝伐り、ツル除去と山側斜面のアオキ伐採	4
			(城ヶ丘広場北側急斜面) 常緑樹の間伐、枯れサクラ伐採	7
			(赤松休憩所北急斜面) 大枯れ松およびヤシャブシ伐採	6
1月11日 (水)	桜の園 (亦楽山荘) 14名	晴れ	(廃線跡) 山側斜面のアオキ伐採、園路両脇の笹、雑草刈り取り	3
			(城ヶ丘広場北側急斜面) 常緑樹の間伐、枯れサクラ伐採	5
			(赤松休憩所北急斜面) ヤシャブシおよび、小枯れ松伐採	6
1月13日 (金)	ゆずり葉の森 15名(1名)	晴れ	(西山堰堤路、わんぱく原っぱ) 枯れ松伐採	6
			(イチヤクソウの丘、モチツツジの谷) 枯れ木伐採、倒木処理、シダ刈り、階段補修	6
			(県宝谷平) シダ、笹、細竹刈り取り、階段新設と補修、路肩改修	3
1月17日 (火)	山手台 21名	晴れ	(道路のり面・北 中段) ヤシャブシ・ツル類など伐採	8
			(道路のり面・北 南西側) クズ・ススキ・イバラなどの刈り取り	6
			(ご神木西側斜面) 常緑樹などの除伐	7
1月21日 (土)	武庫山の森 23名(1名)	晴れ 一時雪	(南谷堰堤付近) 枯マツとコナラの伐採、クヌギの植樹	20
			(入口広場) 草刈りと低木間伐	3
延べ参加者数				137

桜の園 (亦楽山荘)

2022年11月11日から7回同じ作業内容が続いています。すなわち

廃線跡：山側斜面の常緑樹(アオキ、アラカシ等)の伐採、笹、ツル類等の刈り取り等

城ヶ丘広場北側急斜面：常緑樹の間伐による北方向の眺望改善

赤松休憩所北側急斜面：ヤシャブシ及び常緑樹の伐採による北方向の眺望改善 です。

12/25(日) 月末で、且つ年末ということで、シロバナウンゼンツツジ自生地で作業路の整備と廃線跡と内周路で樹名板設置を行い、作業後に“山の神様”に2022年の『無事故の御礼』を行いました。

1/5(木) 年始で“山の神様”に『安全祈願』を行ってから作業を始めました。

1/11(水) 特記事項なし

(加賀野 記)



12/25 “山の神様”に『無事故の御礼』



12/25 赤松休憩所北側急斜面で
超大ヤシャブシ伐採



12/25 シロバナウンゼンツツジ
自生地で指導書を手にロープ張り



1/5 “山の神様”に『安全祈願』



1/11 城ヶ丘広場北側急斜面下辺で
常緑樹間伐



1/11 廃線跡石垣面と上縁部の
常緑樹と雑草類の刈り取り

青葉台

12/28 (月) 少し頑張ると汗ばむほどの陽気で以下の作業を行った。① 陽光広場小林大堰堤沿い斜面と行者山登山路川岸沿いでススキ等雑草と低灌木の刈り取りを、湧水路付近で枯れ木及び絡まり合ったツルの除去。② 光が丘ルート入口付近の笹等を刈り取り、川岸部で細竹、常緑低灌木の刈取りを行い対岸の民家まで見通せるほど見通しよくなりました。最後に”山の神様”に1年間の『安全御礼』をしました。

(加賀野 記)



“山の神様”に『安全御礼』



陽光広場の小林大堰堤上斜面
枯れ松伐採



陽光広場の湧水路近辺
枯れサクラを伐採

ゆずり葉の森

1/13 (金) 天気予報では午後には雨もとの予測でしたが、雨に合うこともなく作業を終えることができました。先ず”山の神様“に『安全祈願』を行った後、① 西山堰堤路ルートで大～中サイズの枯れ松伐採を、② イチャクソウの丘～モチツツジの谷では枯れ木の伐採と園路脇を覆うシダの刈り取りを、③ 県宝谷平では園路両脇の笹、細竹、シダの刈り取りと階段の追設と路肩の改修を行いました。(加賀野 記)



“山の神様”に『安全祈願』



西山堰堤路山裾の雑木林で
掛かり木になった枯れ松を牽引



県宝谷平でシダの刈り取り

山手台

1/17 (火) 朝方は寒かったが、昼頃には暖かくなって気持ちのよい1日でした。今日は、山手台にとって年度初めですので、朝礼のあと安全祈願を行いました。その後に3班に分かれ作業に入りました。2つの班は、昨年12月に引き続き道路のり面(北)での整備作業を行いました。中段部分ではヤシャブシやツルの伐採、南西部のCoKoセンター向かいではクズ・イバラ・ススキの刈り取りを行い、明るい林、明るい広場の部分が徐々に広がってきています。もうひとつの班は、ご神木の西側斜面で常緑樹の除伐を行い、この場所も格段に明るくなりました。(岡 記)



道路のり面中段；ヤシャブシ伐採



CoKoセンター向かい；
ススキの刈り取り



ご神木西側斜面；常緑樹の除伐

武庫山の森

1/21 (土) 今年初めの作業を山の神様に安全作業を誓いスタートしました。最近の高木伐採はチェーンソー主流となり、限られた有資格者が専門的に行っております。体力面、効率的にも良いのですが、大鋸で切ることの経験不足が心配で今回はコナラと枯マツの高木を大鋸で処理しました。良かった点 ①最近の新入会員を中心にして大鋸で倒す経験ができた。②時間はかかるがみんなで協力して作業をする楽しさを実感できた。反省点 ①掛り木になった。安全作業を優先していたが倒し方としては悪かった。②大人数で作業すると、熱心な人が多いので指示やアドバイスが多くなり過ぎた。



武庫山に関しては作業予定に余裕があるので、効率だけでなく色々な経験ができる作業を組み込んでいきたいと考えております。入口広場の整備も力を入れております。入口を綺麗にすることで第一印象が良くなります。最近会員以外の訪問も確実に増えており、嬉しく思っております。(横山 記)

運営委員会報告 (2022年12月度)

代表 近藤 茂

2022年12月24日(土) 9:40~12:00 ぷらごこむ1

1. 2023年度活動カレンダー…活動カレンダーを決定し、ホームページに掲載した。2月末に全会員宛に印刷したカレンダーを送付する。
2. 観桜会…コロナの感染が依然収まっていないことから「桜バスツアーは今春も難しい」と判断し、4月1日(土)に下記ルートでの徒歩での観桜会を開催することにした。
今津駅 → 白鹿記念酒造博物館(笹部展見学) → 夙川河川敷の桜見学 → 越水浄水場桜通り抜け
詳細を会報3月号に掲載します。大勢の皆さんの参加を期待します。
3. ゆずり葉の森&青葉台地区の道標の抜取り問題…12月23日警察が容疑者に職務質問し、犯行を認めさせたが、住所氏名を特定するには至らなかった。容疑者は「もうしない」と言っていたが、その後も道標の抜き取りと監視カメラの盗難被害が発生した。当会が容疑者に接することは危険が予想されるので、警察に対応をお願いしている。

会員動向

事務局

新入会員 本多 則雄(ほんた のりお)さん、 阪上 健治(さかうえ けんじ)さん
2名の方が入会されました。皆さんよろしくお祈りします。

「武庫川エコハイク」2月度活動予定

エコグループ・武庫川

- 第189回「加古川分水界八多川源流地帯を歩き」 健脚向き 約13km
今回は有野川の支流、加古川と武庫川の分水界、八多川の源流地帯を歩きます
日時: 2月11日(土) 集合: 神戸電鉄「大池駅」谷上方面改札口前 9時30分 雨天中止
★コロナ感染症拡大予防対策で「中止」もあり得ますので最新の情報で確認ください
*お問合せ: 携帯 090-7763-6763 (上田) URL: <http://ecomukogawa.web.fc2.com/>
*お願い: スタッフを募集中です。どなたでも参加して体験してみてください。

< 櫻守ひろば >

吉野山紀行(その3)

ヤマザクラの育て方を学ぶ(現地見学)

運営委員 近藤 茂

11月4日(金)13時 吉野山保勝会の前田事務局長さんの案内で、草刈り作業をしている作業現場まで歩いて行った。道は宮滝に至るハイキングコースでもあり、何人かのハイカーの皆さんとすれ違った。歩き始めて5分もすると、すぐに桜林に入った。桜林は桜の園と全く違う別世界の景色であった。第一印象を列挙すると

- ① 桜林の斜度がきつい。平均して桜の園の桜坂位はありそうだ。
- ② ヤマザクラが8m位の間隔を空けて整然と植えられていた。桜以外の木は1本も無かった。
- ③ 下草がきれいに刈られていて、ツルツルの状態であった。勿論ブッシュは1本も無かった。
- ④ 樹間が広く取られているためか、すべて下方から枝分かれしていて樹形が良かった。
- ⑤ 大木はそんなに多くはなく、中位の木が多かった。しかも多くの木に白いウメノキゴケが付着しており老化を感じた。

歩き始めて10分位で作業現場に到着した。そこには3名の若い作業員の方が刈払機で草刈りをしていた。

彼らは「桜守」と呼ばれており、種子集め～発芽・育苗～山への移植～桜の手入れ（草刈り・病虫害管理他）まですべての事をやっており、しばしばTV番組（情熱大陸等）で紹介されている。時間があったら下記のYouTubeを見て、桜守さんの作業内容を見てください。

<https://www.youtube.com/watch?v=j4X0hbL1Ycc>

<https://www.youtube.com/watch?v=64nycP6xAKI>

3名の桜守の方とお話しさせて貰える時間を取っていただき、下記の情報を得た。

- ・吉野山保勝会の桜守は3名（30歳～44歳）。他の地区では80歳を超えた桜守もいる。
- ・草刈りは冬以外の季節に30ha 全域にわたり、年平均1.5回位行っている。
- ・刈払機・・・2本ナイロン刃（4本ナイロン刃にするとパワー不足になる）、胴シャフトを両方の手で間隔を空けて挿むタイプ、危険な時に離せるようにベルトを付けていない。
- ・草刈り時の服装・・・スパイク付き地下足袋、頭にハチ刺され防止ネットを被る、急斜面でも安全帯は付けていない（その方が安全らしい）。



ヤマザクラが8mの間隔を空けて
整然と植えられていた



桜守の方が刈払機で急斜面の草を刈っていた



2本の棒に挟んだ若木の鹿対策

桜林の状況と桜守の皆さんの作業内容を見学出来て、とても参考になった。しかしながら桜守の皆さんの仕事はとても体力が要りそうで、「我々にはとてもできない」と感じた。（その4に続く）

「テイカカズラ」のフワフワ種子

さくら守太郎

12月14日の朝、桜の園の親水広場で活動前の朝礼をしているとき、微風に乗って写真の様な下に1.5cmの錘（おもり）が付いた直径5cm位の綿毛の塊りがフワフワと多数飛んできて、とても幻想的な情景でした。家に帰って調べてみると「テイカカズラの種子で、冬に飛散する。綿毛を種髪と言う。」と書いてありました。

テイカカズラは小さな葉を持ったツル性の樹木で、桜の園ではごく普通に見ることができます。5～6月頃に5弁の特長のある花が咲き、特に滝見の道で間近に観察することができます。



12月14日 テイカカズラ 種子と種髪

この樹木の名前は、新古今和歌集や小倉百人一首の選者であり、最近では「源氏物語」の写本「定家本」で話題になった鎌倉時代初期に活躍した歌人「藤原定家（ふじわらのていか）」から付けられています。

「著名な歌人である定家の名前が付いた植物なので、きっと優雅な謂れがあるのだろう」と思っていたのですが、実際は大変怖い話に由来する名前でした。後白河天皇の第3皇女である式子内親王に仕えていた藤原定家が、式子内親王に恋慕の情を抱き、式子内親王が亡くなった後そのお墓に葛（かずら）となって巻き

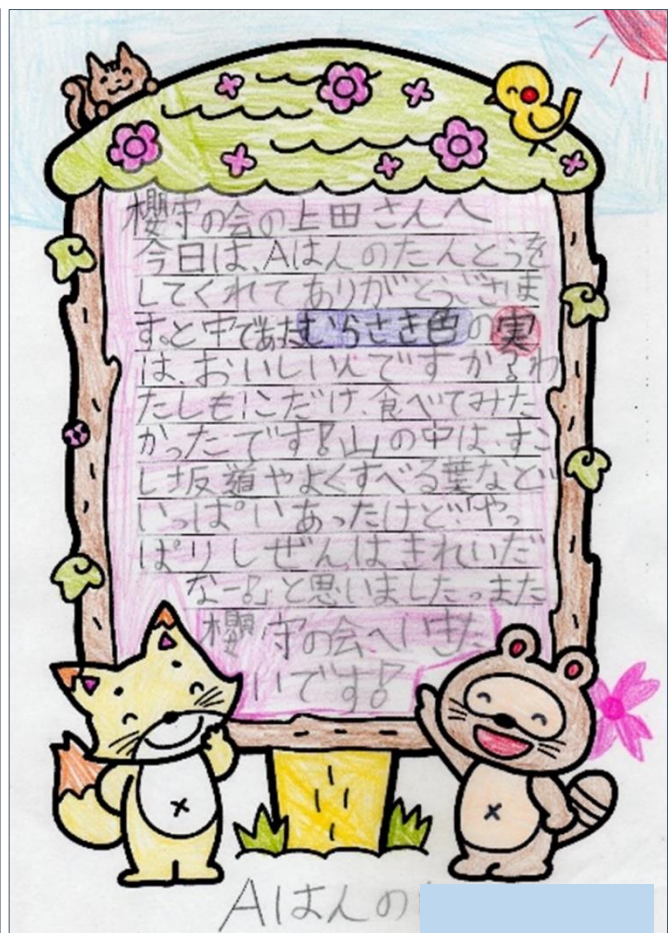
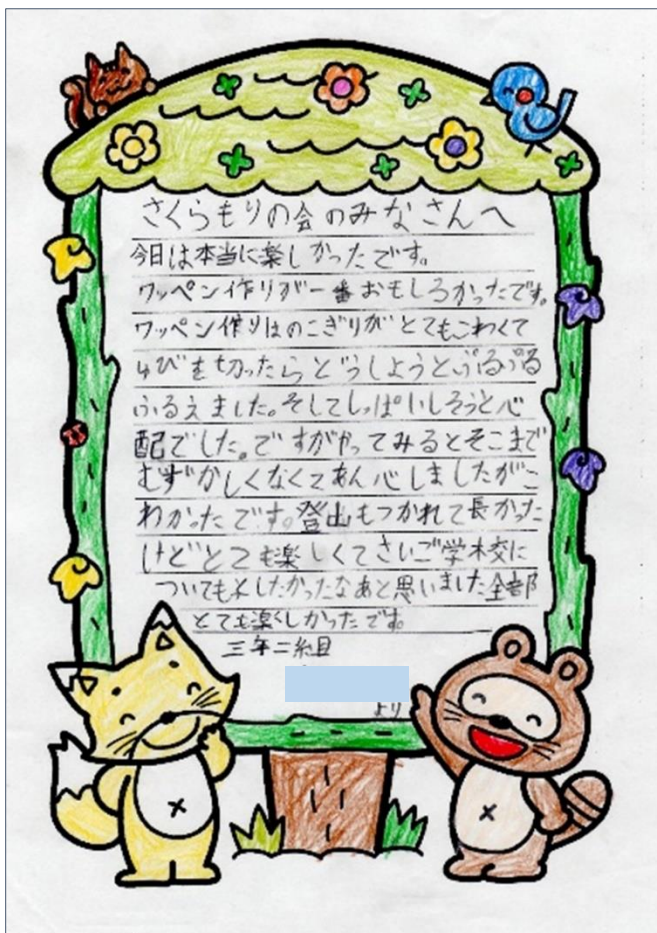


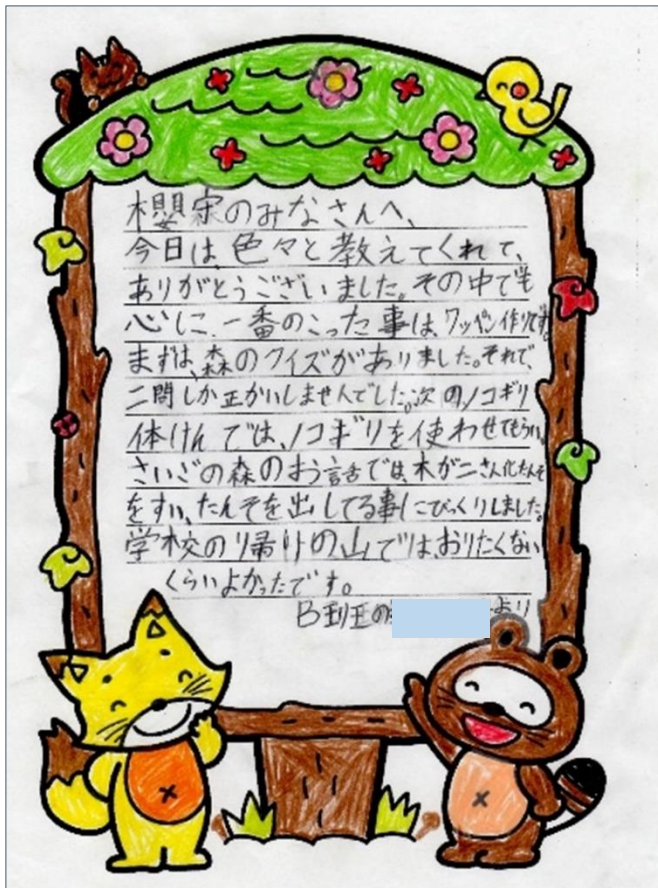
ついた、と言う伝説によるもので、謡曲の「定家」の題材にもなっています。

逆瀬台小の皆さんからのお手紙

運営委員会

2022年11月22日（火）に逆瀬台小学校の環境体験学習をゆずり葉の森で行いました。逆瀬台小学校児童から心温まるお手紙が届きましたので、一部になります紹介します。





< 活動予定 (2月・3月) >

2月		場所等	3月		場所等
2月 1日	水	逆瀬台小環境学習支援(予備)	3月 1日	水	ゆずり葉の森
2月 3日	金	ゆずり葉の森	3月 5日	日	武庫山の森
2月 4日	土	里山公開講座	3月 8日	水	桜の園 (亦楽山荘)
2月 5日	日	武庫山の森	3月 16日	木	桜の園 (亦楽山荘)
2月 7日	火	美座小学校環境学習支援	3月 18日	土	武庫山の森
2月 8日	水	桜の園 (亦楽山荘)	3月 21日	火	山手台
2月 14日	火	美座小環境学習支援(予備)	3月 25日	土	会報印刷・運営委員会
2月 16日	木	桜の園 (亦楽山荘)	2月 26日	日	桜の園 (亦楽山荘)
2月 18日	土	武庫山の森	3月 31日	金	青葉台
2月 21日	火	山手台			
2月 24日	金	青葉台			
2月 25日	土	会報印刷・運営委員会			
2月 26日	日	桜の園 (亦楽山荘)			

<編集後記> 今月号は「櫻守の会」の創設メンバーの一人で初代会長の長岡一夫氏に序文を執筆していただきました。長岡氏の自然を愛する山男の気持ちに触れることができた、と思っています。お便りでは、最近ではカメラを持って近所に出かけて、野鳥を中心に撮影を楽しんでおられるとの事です。

2月4日(土)に2019年以来4年ぶりの里山公開講座を開催します。講師の山瀬先生のお話をまだ一度も聞いていない最近入会した会員の申し込みも多く、有意義な公開講座になることを期待しています。(近藤 茂 記)